

## 2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 31 日作成)

委員会名	建物の音響性能測定法 WG	主 査 名：吉村純一
所属本委員会 (所属運営委員会)	音環境小委員会	委員長名：藤本一壽
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	建築音響関連の測定方法について、その体系を整理すると共に測定方法の確認、測定精度の向上及び新しい計測方法の確立などについて検討する。また、前期のテーマであった等価吸音面積のレベル表示値 Labs の測定方法については、得られた成果を精査し国際学会で報告する。床のインピーダンス測定方法などについては測定方法の確立に必要な要件の抽出について検討する。	
委員構成 (委員名(所属))	吉村純一(小林理研)、赤尾伸一(三井住友建設)、宮島 徹(清水建設)、織田慎一(NHK技術局)、池田 覚(永田音響設計)、古賀貴士(鹿島建設)、坂本慎一(東大生研)、坪井政義(大林組)、福島寛和(独 建築研究所)、平光厚雄(ベターリビング)、浜田幸雄(日本大学)、増田潔(大成建設)、矢野博夫(千葉工大)、村上剛士(日総試)、山内 崇(戸田建設)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2003 年度予算	84,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	ワーキング: 7 回開催、延べ参加人数 59 名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>室内吸音性能の測定方法について、これまでに得られた成果を基に、大会での発表等を通じ、基準音源を用いる方法を普及させると共に国際的にも有効性を報告した(発表登録済、8 月発表予定)。</p> <p>床衝撃音予測におけるスラブのインピーダンス測定方法は、各研究機関において独自に行われているが、規格及び文献等に明確な試験方法として統一された記述がほとんどされていない。合同測定を通じ、同一床を対象に各研究機関が試験機器を持ち寄り、一連の測定を実施することにより、測定方法としての問題点を抽出し測定結果の予測手法への適用条件などについて検討した。</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>前半は検討詳細についての議論に終始し、後半の 2 回の検討成果となったため達成度は 60%</p>
その他評価すべき事項	